

静嘉堂の名宝

美

の

競

演

2020年 6月27日(土) → 9月22日(火・祝)

前期展示：6月27日(土) → 8月2日(日)

後期展示：8月4日(火) → 9月22日(火・祝)

休館日：毎週月曜日(ただし、8月10日、9月21日は開館)、8月11日(火)

開館時間：午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

入館料：一般1000円、大高生及び障がい者手帳をお持ちの方(同伴者1名を含む)700円、
中学生以下無料

※発熱等、風邪の症状がある方は、ご来館をお控え下さい。
館内では、マスク着用・咳エチケットの励行にご協力下さい。



静嘉堂文庫美術館

SEIKADO BUNKO ART MUSEUM

〒157-0076 東京都世田谷区岡本 2-23-1

☎ 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

<http://www.seikado.or.jp>



酒井抱一《波図屏風》(部分) 六曲一双 江戸時代 文化12年(1815)頃 ●後期展示
重要文化財《油滴天目》建窯 南宋時代(12～13世紀)と
《堆朱花卉文天目台》明時代(15世紀) ●通期展示

※新型コロナウイルス感染予防及び防止のため、予定を変更・中止する場合がございます。当館のホームページ等で最新の情報をご確認ください。

静嘉堂の名宝

通期:6/27(土)→9/22(火)
前期:6/27(土)→8/2(日)
後期:8/4(火)→9/22(火)

◎重要文化財
○重要美術品



《灰被天目「毛利天目」》 茶洋窯
南宋～元時代 (13～14世紀)
●前期

前期: 油滴天目 灰被天目 天目台にもご注目！
後期: 唐物茶入 和物茶入

―「肩衝茶入」と「瓢箪茶入」の“形・此(大きさ)”比べ



《膳所瓢箪茶入 銘白雲》(中興名物)
江戸時代 (17世紀)
●後期

三菱創業150周年となる本年、三菱の第2代社長の岩崎彌之助(1851～1908)、第4代社長の岩崎小彌太(1879～1945)蒐集の古典籍、東洋の古美術品を所蔵する静嘉堂では、今日に伝えられた絵画や茶道具、陶磁器、漆芸品、彫刻、刀剣などから名品を精選し、前・後期に分けて展覧します。エントランスでは、岩崎家が明治から昭和初期にかけて所有した深川別邸(ジョサイア・コンドル設計、跡地は現在の清澄庭園)や、麻布鳥居坂本邸(跡地は現在の国際文化会館)に飾られていた作品で皆様をお迎えいたします。

本展では、各ジャンルを代表する作品から数点ずつを選び、それぞれが互いの魅力を引き立て合い“競演”する様子を、テーマ別に楽しく鑑賞いただけるような構成としています。重要文化財13点、重要美術品8点を含む、名宝のたたえる格式ある美、斬新な意匠、卓越した技をご堪能いただければ幸いです。

また静嘉堂では開館以来、岩崎家の社会貢献の精神を受継ぎ、わが国で作り出され、あるいは舶載された貴重な文化財を継承してゆくために、美術品の修理事業を行ってまいりました。本展では修理を終えて美しく甦った山水画の屏風や掛幅、仏画や墨跡なども出品いたします。

夏の緑深い季節、自然豊かな世田谷の杜の中の“美の競演”を、どうぞお楽しみ下さい。

© Y. MAEDA & JASPAR, Tokyo, 2020 E3782



前田青邨《獅子図(旧衝立)》(左) 昭和11年(1936)
●通期 (本図は●前期)
(右) (本図は●後期)



○《三彩獅子》二軀
唐時代(8世紀)
●通期

前田青邨「獅子図」
唐三彩「三彩獅子」



《藍釉粉彩桃樹文瓶》
景德鎮窯
清時代(18世紀)
●通期

中国陶磁(清朝陶磁)
日本陶磁(古伊万里)

深川別邸と麻布鳥居坂本邸
岩崎家邸宅を飾った美術品

東アジア
山水画の競演



○《油滴天目》 建窯
南宋時代(12～13世紀)
●通期

茶道具の競演



○孫君沢《樓閣山水図》 二幅
元時代(14世紀)
●前期



○《普賢菩薩像》
鎌倉時代(13世紀)
●後期

信仰の造形・
祈りの競演

前期:「観音図」、「羅漢図」
後期:「文殊・普賢菩薩像」、
「春日曼荼羅」、彫刻



伝 狩野元信《疑難人打毬図旧襖絵》
(左隻部分) 現装 六曲一双
室町時代(16世紀)

●前期



《堅田図旧襖絵》(左隻部分)
現装 六曲一双と二曲一隻
室町時代(16世紀)

漢画系
狩野派
土佐派、
狩野派
琳派



○狩野探幽《波濤水禽図屏風》(右隻部分) 六曲一双
江戸時代(17世紀)



●後期

酒井抱一《波図屏風》(右隻部分) 六曲一双
江戸時代 文化12年(1815)頃

前期: 狩野派―伝 狩野元信「疑難人打毬図旧襖絵」
土佐派―「堅田図旧襖絵」
後期: 狩野派―狩野探幽「波濤水禽図屏風」
琳派―酒井抱一「波図屏風」

通期: “江戸琳派”の祖、酒井抱一「絵手鑑」72図の共演！



酒井抱一《絵手鑑》 画帖のうち
江戸時代(19世紀)
●通期

*画帖、浮世絵は会期中、場面替があります。作品は事情により変更する場合もありますこと、ご了承下さい。

Pageant in Art; Masterpieces of Seikado Bunko Art Museum

猫花卉 山水 孔雀 魚 など
同一モチーフの競演
―中国と日本、師と弟子など



沈南蘋《老圃秋容図》
清時代・雍正9年(1731)
●前期



原在明《朝顔に双猫図》
太田南畝・文化2年(1808)賛
●前期

前期: 山水―○張璠「秋景山水図」明時代(17世紀)
池大雅「流泉古松図」江戸時代(19世紀)

後期: 遊魚―○渡辺華山「遊魚図」(右下図)

椿椿山「嫩荷遊魚図」弘化2年(1845)

黒漆螺鈿藻魚文盆 朝鮮時代(19世紀)

“競演”そして“共演”
まだある!!



○渡辺華山《遊魚図》
江戸時代 天保11年(1840)
●後期

前期: 和漢版本の宝 嵯峨本「通小町」江戸時代(17世紀) 宋版○「三蘇先生文粹」南宋時代(13世紀)
通期: 日本刀最上級の斬れ味! “最上大業物”より古刀 新刀(右図)2工の競演!

刀装金工“奈良三作”、国貞と広重共作の浮世絵(左下図)も!



三代豊国・歌川広重
《双筆五十三次 赤坂》
江戸時代(19世紀)
●後期



土屋安親《飛瀑猛虎図鐔》
江戸時代(18世紀)
●通期



長曾祢虎徹
《刀 銘 長曾祢興里入道所徹》
江戸時代(17世紀) ●通期

美の競演

— 静嘉堂の名宝 —

【イベント情報】

新型コロナウイルス感染予防及び防止のため、予定を変更・中止する場合がございます。
当館のHP等で最新の情報をご確認くださいようお願い申し上げます。

※①～④はいずれも参加無料（ただし当日の入館券が必要です）

①講演会 地階講堂にて ②、③各回とも定員50名 同講演内容です。

9月5日④ ⑤午前11時～午後12時30分頃 ⑥午後2時30分～午後4時頃

「静嘉堂の琳派とやまと絵 一発見の日々から現在へ」

玉蟲 敏子氏（武蔵野美術大学 教授）

★本講演会のみ、「往復はがきによる先着順の事前申し込み制」です。

参加申し込み方法：往信裏面に④⑤いずれかご希望の記号と、参加者全員（1枚につき2名まで）の住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記して下さい。返信表面に申込者の郵便番号・住所・氏名を明記して下さい。

当日は予約番号順の入場。

往復はがき送付先：157-0076 東京都世田谷区岡本2-23-1

静嘉堂文庫美術館「9月5日講演会」係

※定員（満席）になり次第、静嘉堂HP「お知らせ」欄にその旨掲示いたします。ハローダイヤルへのお問い合わせ、往復はがき返信でも「申し込み終了」の旨、回答させていただきます。

②河野元昭館長のおしゃべりトーク 地階講堂にて 各回とも定員50名

※当日開館時より整理券配布（1名様につき1枚限定）、整理券の番号順にお入り頂きます。

7月18日④ 午前11時～午後12時30分頃

9月19日④ 午前11時～午後12時30分頃

両日とも同講演内容です。

「競演・対決・ハーモニー 日本東洋絵画の美」

饒舌館長口演す

【静嘉堂文庫美術館の移転について】

公益財団法人静嘉堂は、開館30周年を迎える2022年（令和4）に東京丸の内明治生命館1階に美術館の展示ギャラリーを移転する予定です。移転先の明治生命館は、1934年（昭和9）竣工。ネオルネサンス古典主義様式を採り入れ、昭和の建築物で初めて国の重要文化財に指定されたものです。皇居お濠端の日本を代表する歴史的建造物の中で、静嘉堂の名品（国宝7点、重要文化財84点を含む）を、より多くの方々にご覧頂けるようになります。

東京駅から徒歩5分の圏内、三菱一号館美術館からはワンブロックに、新たな文化スポットが誕生します。

※移転施設は美術館の展示ギャラリーのみで、美術品の保管管理・研究閲覧業務、並びに静嘉堂文庫（書庫）、敷地・庭園の管理業務は、現在の世田谷区岡本にて継続して行って参ります。



明治生命館



静嘉堂文庫美術館および静嘉堂文庫

③学芸員によるテーマ別、スライドトーク

午後2時から（各回40分） 地階講堂にて 定員50名

7月26日④「静嘉堂の作品にみる、東アジアの絵画交流」（吉田恵理）

8月16日④「岩崎家深川別邸を飾ったやきもの」（長谷川祥子）

8月20日④「岩崎家と近代絵画」（浦木賢治）

9月12日④「静嘉堂茶道具の漆芸一天目台と茶入盆」（小池富雄）

（※非常勤。鶴見大学教授）

9月17日④「静嘉堂の刀剣コレクション」（山田正樹）

④列品解説 午前11時から 地階講堂にてスライド解説を予定 定員50名

7月9日④／7月23日④／8月13日④／9月3日④

【次回展覧会】

能をめぐる美の世界

～初公開・新発田藩主溝口家旧蔵能面コレクション～

2020年 10月13日④～12月6日④

休館日：月曜日（ただし11月23日は開館）、11月24日④

日本文化を代表する古典芸能、能楽。江戸時代には武家のみならず、町人の間にも広まり親しまれました。この芸能を謡（言葉）と共に支えているのが、能面です。本展では、越後国新発田藩主 溝口家旧蔵の能面コレクションを初公開致します。秋のひと時、大名家秘蔵の能面の数々にゆっくり向き合ってみませんか。能に関わる工芸品や書籍も展示。能の魅力を幅広くお伝えします。また、明治を代表する彫刻家、加納鉄哉（1845-1925）による伎楽面も登場します。迫力ある木彫面も合わせてお楽しみください。



「福来（福来）」室町時代後期（16世紀）



「中蔵見」江戸時代初期（17世紀）

【交通案内】



- 東急大井町線／田園都市線（地下鉄半蔵門線直通）「二子玉川」駅下車、駅前④番バス乗場より東急コーチバス「玉30・31・32系統」で「静嘉堂文庫」下車。徒歩5分。または二子玉川駅からのタクシーで約10分。
- 小田急線「成城学園前」駅下車。南口バス乗場から「二子玉川」駅行きバスで「吉沢」下車。徒歩10分。
- 駐車場が、正門を入ってスロープを上った美術館前に約20台分あります。美術館入館のお客様は無料でご利用いただけます。

カーナビ案内



カーナビご利用の際は、美術館名ではなく「世田谷区岡本2-24-16」の住所を入力下さい。

静嘉堂文庫美術館
SEIKADO BUNKO ART MUSEUM

アクセスQRコード

